

第4回府中市環境審議会のご意見一覧について

【資料1】

No	内容	該当指針	主なご意見	対応方針
1	環境行動指針の進捗状況	-	備考という語句は適正でないように感じる。定量的な事実のみ記載されており、世の中の変化する情勢もふまえて前向きな評価を記載してもよいのではないか。	「取組の概要等」などの表現に修正します。
2		7、14、26、35	コロナ禍が要因で未達の結果に対してC評価は厳しいので、「評価のしようがない」として、16番や18番同様「-」（評価なし）として判定してはどうか。	行政評価等においても、新型コロナウイルスの影響を踏まえたうえで評価をしておりますので、引き続き目標への達成度という観点で評価いたします。
3		7、26、35	コロナウイルス感染症が要因のC評価について、今後も影響が続くことを鑑みると、「コロナで実施できなかった」だけでなく、コロナを踏まえてどんな工夫をしていくのかを記載してあるとよい。	記載を修正します。
4		-	各課の評価基準にばらつきがあるように感じるため、「S:目標の120%以上、A:90~119%、B:70~89%、C:69%以下」のようにすれば、客観的に全課共通で評価はしていけるのではないか。厳しいようであれば、備考欄（「取組の概要等」）に、できてはいないものの、どのように苦労されたか、懸命に取り組もうとしたか、工夫、アイデア、苦労話などを書き込んで、努力量を評価することも考えてもよいのでは。	評価基準について、各課ごとにばらつきがないよう精査するとともに、備考欄（「取組の概要等」）に記載する文言を整理し、記載します。
5		2	湧水がA評価になっているが、資料3でみると通年通水できる量ではない。立川段丘からの湧水を利用しない限り実現できないはず。	資料3の湧水はあくまで参考情報としての記載ですので、該当の湧水のみで通年通水を実現するという意味合いではありません。一例として、雑田堀では、サントリーのビールのためにくみ上げている地下水を流すことで通年通水を実現しています。
6		35	令和3年度にはオンラインで実施はしていないのか。やってきたことがあれば、備考欄（「取組の概要等」）にもっと記載すべき。	記載を修正します。
7		39~41	「本年度導入予定はなし」なのに、導入済みのものがある場合は、A評価でなく、前年までに目標をクリアしているので「-」（評価なし）とすべき。 「建替え及び大規模改修時」という視点が読み手の情報として入っていないので、経年で使っている行動指針であり、途中で変えるのはおかしいかもしれないが文面を少し手直ししてはどうか。 備考欄（「取組の概要等」）についても「本年度、導入予定校は無し。」だけでなく、工事着工中の学校についても「〇年度完成予定の学校に設置予定」など記載してあるとよいのではないのでしょうか。	ご指摘のとおり、最終目標に対しての「A」評価であり、単年度比較とならないため記載を修正いたします。
8	答申案	-	「報告いただき」という謙讓表現に違和感がある。また、府中市環境保全センターの略記ルール等は統一した方がよい。	修正します。
9		-	「環境保全センター」については記載度合いを強くしてほしい。	修正します。
10	環境行動指針	-	次期環境行動指針の指標の設定の仕方はぜひ工夫してほしい。	第3次環境基本計画の環境行動指針は、市民や事業者に取り組んでいただくための手引書として位置付けているため、指標は、環境基本計画内で設定しているもので管理します。
11		-	基本方針2の「「外来種被害予防三原則」に取り組めますという」表現だが、三原則は考え方であって取り組むものではないので、表現を修正したほうがよいのではないか。	表現を修正します。
12		-	環境行動指針だけでは分かりにくいので、環境基本計画の概要を載せた方がよいのではないか。	体系を記載します。
13		-	府中市環境行動指針（案）のイラストの描写で、顔に目や鼻、口などが描かれていないため、人権的な配慮という面で記載したほうがよい。	イラストを修正します。